

体験グローバル 「エフピコ株式会社」講演のアンケート結果

2017年4月25日7時間目に4年生を対象に、エフピコ株式会社より松尾和則さんと藤井宣裕さんを講師として本校にお招きし、講演をしていただきました。

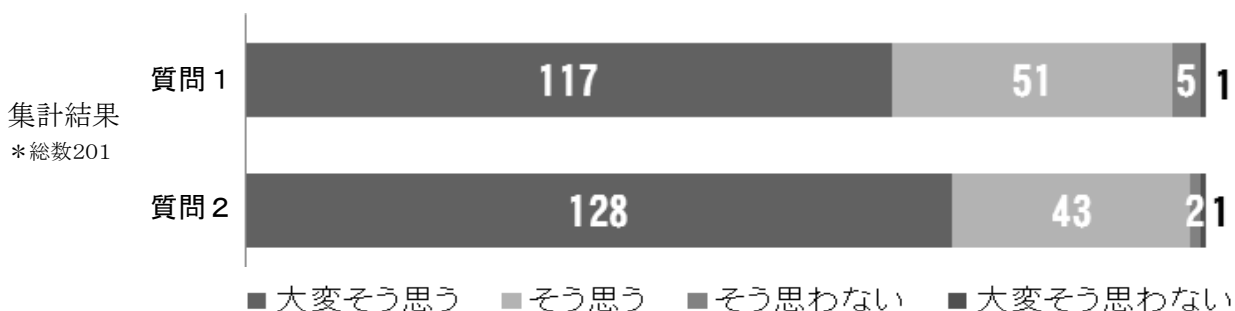
松尾和則さんからは、社会の環境問題に対する関心が高まる中で、行政や他社に先駆けてトレー分野のリサイクルシステムを確立してきたことや、家族形態の変化などに伴う社会のニーズの変化にいち早く対応して多様なトレー開発をしてきたことが企業の成長を支えてきたことを、具体的に製品を資料として生徒にも触れさせながら説明していただきました。そして、その成長を支えた背景には、明確な経営ビジョンがあることや、「現場第一」「顧客第一」といった社員と消費者との距離感を大切にされていることを話してくださいました。また、雇用の面では障害者雇用を積極的に行っていることも話していただき、企業の成長の在り方や、企業と社会との関係の在り方について生徒は関心をもって講演を聴くことができました。講演後には生徒から活発な質問があり、放課後も時間が許す限り、控室で講師とひざを突き合わせて話をする生徒もいました。



講演後の生徒のアンケートをまとめると以下のようになりました。

質問項目

1. 今日の講演は興味・関心をもって聞くことができましたか。
2. 今日の講演は新しい考え方や視点が学べるものでしたか。



自由記述 今回の講演から学んだこと、考えたことを具体的に記述してください。

○エフピコは、歴史があり、苦労して大きくなっているのだと感じました。いろいろなトレーがあり、たくさんの方の工夫がありました。日本の文化に合った日本でしか売れないトレーというのはすごきれいだと思います。会社を大きくできたのは経営計画を持ち、新しいことをどんどんしていたからだと分かりました。話を聞く中で、様々な努力と失敗があったからこそだとも感じました。私も失敗をしながらたくさんの方の事を学んでいきたいと思います。

○今までリサイクルのことを深く考えたことがなかったが、いかに裏でたくさんの方が多くの努力をしているのかが分かった。経営者が夢である私にとって経営計画についてのお話はとても勉強になった。特に多くのヒット商品を出したエフピコは消費者団体との積極的な対話をとりくみ、ニーズに応えた商品を作っているからなんだと分かった。とても興味深かった。



○危機が迫ってきたので誰もしなかった新しいことをしたと分かりました。エフピコがリサイクルをすることで環境もよくなり。雇用される人も幸せになり。持続可能な社会をつくれるようになると思います。スーパーや問屋、家庭、消費者の協力があってからこそリサイクルができていると分かりました。世の中を良いようにしようとしている企業はもっと人に知られるべきだと思います。

○消費者第一の方針に胸を打たれました。Win-Win というべきか、お互いがお互いのことを考えて成り立っているビジネスの形。それを初めて理解することができました。常に相手のことを思い浮かべて活力にしたり、推進力にしたり、自分に足りないことも分かった気がします。松尾さんは、「儲かる」と仰っていましたが、「お客様の笑顔の数が儲かる」という心持ちでいらっしゃったのだと思いました。消費者としては嬉しい限りです。



○普段、スーパーのおそうざいやお刺身を買って食べることはあるが、そこでトレーに注目したことはなかった。今日の講演を受けて、並並ではない人々の心がけを知った。基準のない「安全」を求めて作業をしている人々の存在の大切さをとても感じた。食へのありがたみを感じるだけでなく、トレーを作っている人への感謝も忘れずに、「いただきます」、「ごちそうさま」を言いたいと思った。

○日本の文化やニーズによりそって高みを目指していくという方針がとても大事だと思った。スーパーやコンビニでよく（トレーを）見ているのに、今までは意識していなかった。小学校では、トレー回収をしていたけど、中学校からは協力できていない。協力することで、私達にも良いことがたくさんあると思うから、もっと自治体とかが協力すべきだと思う。私はこんな風な社会貢献したり、どんどん挑戦していく会社で働きたい。

○エフピコが自分の仕事に誇りを持ち、歩みを止めることなく歩み続けているのがよく分かり、モットーともっていた「顧客第一主義」がしっかりと仕事で出ていて、業界をリードしてきたのも納得できた。どんな企業が成長し、生き残っていくのかということが分かった気がした。



○会社を大きくするのは経営計画を持ち、新しいことを続けなければいけないというのは、なるほどなと思いました。何をしても、目標がなければ良いものは得られないし、人のやっていることばかりやったら成長はできない。これは会社経営に限らず、全てのことに言えることだと思いました。あと、トレーの回収も適当に考えていたが、多くの困難・努力の上に成り立っていると分かったので、今度からはもっとトレーの回収の時に、ゴミなどに目を配ろうと思いました。あと、大胆な経営戦略はすごいと思った。

○自分の生活にもとても身近な発泡トレーにもこんな歴史があったのかということにとっても驚きました。時代の流れに負けず新しいアイデアを出し続け、明確なビジョンを持ち続けることの重要性を知ることができたと思います。今回、実際の現場で活躍されている方の生の声を聞くことができ、現場の大変さや消費者側がやるべきことも知るきっかけになりました。

○私は一度小学生のころエフピコさんへ見学に行かせて頂いたことがあります。そこでは主にトレーの作り方などを学ばせてもらいました。しかし、今回は会社がどうやって拡大したかや障がい者の方々スタッフがいることなど初めて知ることが多く、驚くことがたくさんありました。特に、障がい者の方々をやっているという点が印象に残っています。詳しいお話を聞いてトレーはとても身近なことなので自分ができることから少しずつでも協力していきたいと思います。

○いわゆる「成功」している企業であるエフピコさんは、やはりそのための“差”，同業社他企業とは異なった行動をすることで際立った成功をしている。また、将来設計をきちんとすることで経営をより明確に行えていることが分かった。これは、自分たちの学校生活でも言えることだと思った。

○常に先を読み、客のニーズに応え、同業他社のやらない・できないことを次々で行っているからこそエフピコという会社が成功しつづけているのだろうと思った。人のやらないことに取り組んでいく姿勢は会社だけでなく一人ひとりの個人に対しても大切なことだと感じた。勢いよく進み業界のトップに立つエフピコさんはすごいと思った。

